住宅用火災警報器を設置したあとは？

住宅用火災警報器は、命を守る大切な機器です。
「いざ」というときにきちんと作動するように、日頃からお手入れや点検をしましょう。

１　点検の方法

正常に作動するか、月に１回は点検をしましょう！！

（１）お手入れをしましょう

　警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。
　特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。布に水やせっけん水を浸し、十分絞ってから汚れをふき取ってください。

（２）テストをしましょう

　テストは、ボタンを押したり、ひもがついているタイプのものは、ひもを引いて行えます。
　詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

（３）音が鳴らない・・・？

次のことを確認しましょう。

・電池はきちんとセットされていますか？

・電池切れではありませんか？

※ それでも鳴らない場合は、故障が考えられます。取扱説明書をご確認下さい。

２　電池交換は？

電池切れかな？

電池切れの時には音声でお知らせするか、ピッ・・・ピッ・・・と短い音が一定の間隔で鳴りますので、新しい電池若しくは新しい警報器に交換してください。
（新しい電池は、警報器のメーカー、家電量販店にお問い合わせください。）

３　注意事項

（１）警報が鳴った時は？

＜火災の時＞

大声で周りに火災を知らせ、１１９番通報をしましょう。
可能なら消火を行ってください。
消火が難しそうな場合は、速やかに避難してください。

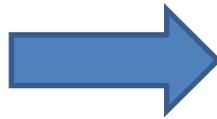
＜火災ではない時＞

火災以外（火災でないことをよく確認してください。）の湯気や煙などを感知して警報が鳴った時は、警報音停止ボタンを押す、ひもがついているタイプのものはひもを引く、若しくは、室内の換気をすると警報音は止まり、通常の状態に戻ります。

※　台所でよく鳴る場合は、煙や湯気が直接かからない場所に警報器の場所を変えるか、熱式の警報器に取り換えて下さい。

（２）煙霧式の殺虫剤を使用する際は・・・

警報器を取り外すか、ビニール袋で覆ってください。

殺虫剤使用後は必ず警報器を元の状態に戻して下さい。

（３）取扱説明書がない・・・

一般社団法人　日本火災報知機工業会から感知器が鳴った時の対処法及び各メーカーの感知器取扱方法の一覧が掲載されていますのでご参照下さい。

http://www.kaho.or.jp/text/user/awm09_p01.html

４　リコール情報（一部照会）

東芝ライテック社製の住宅用火災警報器の一部において、早期に電池切れの警報が鳴る場合があることが判明し、無料交換を行っています。
対象商品：住宅用火災警報器(なるるミニ　煙式)
対象形名：TKRKX-10、TKRK-10、TKRK-10S
製造販売時期：2009 年 12 月～2010 年 3 月
詳しくはこちらへ⇒　http://www.tlt.co.jp/tlt/kokuchi/kahou_koukan/kahou_koukan.htm

マックス株式会社が販売した電池式「住宅用火災警報器」４機種の一部製品において、「製品仕様に定めた電池の寿命を満たさず、短い期間で電池切れの症状を起こし、電池切れをお知らせする警報音を発する」不具合を生じることが判明しました。

当該機種を自主回収し、無償で代替品と交換いたします。

対象機種

●住宅用火災警報器「火無安全(かないあんぜん)」

ＫＫ－ＤＳ４０－１０[煙感知電池式 10 年寿命]

ＫＫ－ＤＳ４０－２　[煙感知電池式 2 年寿命]

ＫＫ－ＤＨ４０－１０[熱感知電池式 10 年寿命]

ＫＫ－ＤＨ４０－２　[熱感知電池式 2 年寿命]

詳しくはこちらへ⇒「火災警報器お客様相談ダイヤル」0120－301－359まで、ご連絡下さい。

（月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）9:00～17:30）

ﾔﾏﾄﾌﾟﾛﾃｯｸ株式会社及び株式会社ダスキンの住宅用火災警報器（住警器）商品名「けむピー」（YSA-210JP・YSA-310JP ・YSA-210AP）及び（DKK-K1）に付属されています電池の一部に、電池寿命より短い場合がある事例が発生しております。電池の不具合事象と致しましては、電池容量が低下するという事象です。 電池切れ警報を発した場合、代替電池を送付させていただきます。

詳しくはこちらへ⇒　両社共通　ヤマトプロテック株式会社「お客様相談窓口」

0570－080100まで、ご連絡下さい。

（月～金曜日（土・日・祝日を除く）9:00～17:30）

http://www.yamatoprotec.co.jp/information/ysa-battery/